

令和7年度職員紹介

なんでもお気軽にご相談ください！

よろしくお願いします

◎は新採用、※は転入者、カッコ内は担当分野です。



寺尾 副部長
(庶務課長兼任)

浅野 部長

本間 副部長(農業振興担当)
普及指導センター所長



企画振興課

後列 長澤◎ 技師 宮島※ 技師 滝澤 主査

前列 西澤※ 副参事 本田 企画専門員 渡邊 参事(課長) 遠藤 専門員
(病虫害防除所佐渡駐在所)



普及課

本間 会計年度任用職員 富岡 普及指導員(果樹) 丸山※ 普及指導員(作物) 小泉 主査普及指導員(作物) 梅澤 課長代理(畜産) 田中※ 参事(課長)(花き) 佐藤※ 課長代理(野菜) 伊藤 専門員(果樹) 吉澤◎ 技師(作物) 池田 技師(作物)



羽茂分室

計良 会計年度任用職員 千野 主任普及指導員(野菜) 江口 技師(果樹) 中川 課長代理(果樹)

退職・転出

たいへんお世話になりました

- 山際 和弘(普及課長) 畜産研究センター
- 松澤 清二郎(課長代理) 農業大学校
- 金子 義広(副参事) 佐渡地域整備部
- 大勝 慶子(主任) 新発田地域振興局
- 河田 典(技師) 十日町地域振興局
- 土田 優斗(技師) 上越地域振興局
- 山本 哲也(臨時的任用職員) 退職

最新情報は、ホームページでご確認ください。

佐渡農業普及指導センターホームページ

https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sado_nourinsuisan/index01.html

※右のQRコードを読み取ると上記ページが表示されます。



さど普及指導センターだより

発行／佐渡農業普及指導センター(佐渡地域振興局農林水産振興部内)

農政庁舎 TEL:0259(63)3185(代) FAX:0259(63)4386 羽茂分室 TEL:0259(88)2064 FAX:0259(88)3644
e-mail:ngt111150@pref.niigata.lg.jp

令和
6年度

農産漁村男女共同参画優良事例表彰
北陸農政局長賞を受賞しました!

ちもと
知本チサさん
(佐渡市真野地区)

令和6年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰において、佐渡市真野地区で野菜を周年栽培している知本チサさんが北陸農政局長賞を受賞されました。

知本さんは平成24年に開設された佐渡市最大の農作物直売所「新鮮空間よらんか舎」の準備委員会の委員長として、農業者の意見集約や運営方法の決定等を担い、創設に尽力されました。開設後3年間は運営委員会委員長として、イベントや試食会を企画・開催し、直売所の運営及びさらなる発展に貢献し、農家所得の向上につなげました。

また、令和6年にはJA佐渡女性部の本部長に就任し、若手就農希望者に対して、ほ場見学やアドバイスを行うなど、若手農業者の育成や農村女性の活躍推進にも取り組んでいます。

今後も普及指導センターでは、地域で活躍する農業者を応援し、地域農業の発展に努めていきます。



令和6年度受賞者一覧

大会名	受賞した賞	受賞者	地区
令和6年度 北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰	北陸農政局長賞	ちもと 知本 チサ	真野
令和6年度「ル レクチエ」果実品評会	最優秀賞(県知事賞)	なかいど まさじ 中井戸 正治	羽茂
	優秀賞	かねこ まさかず 金子 雅和	羽茂
	優秀賞	すずき まなぶ 鈴木 学	金井
	奨励賞	とりこえ のうじょう (農)鳥越さとやま農場	金井
令和6年度 新潟県施設園芸立毛品評会(いちご)	新潟県施設園芸経営研究会会長賞	とのおち あやこ 外内 綾子	赤泊

皆様へのごあいさつ

佐渡農業普及指導センター所長 本間 敏明

日ごろから農業普及指導センターの活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。令和7年度は7名の異動があり新たな体制でスタートしました。

地域の課題解決に向けて、令和6年度に策定した地域計画等に基づき、担い手を中心とした持続可能な農業・農村の仕組みづくりや魅力ある経営体の育成など、地域や人に着目した活動を展開するとともに、佐渡米、園芸、畜産などの収量・品質の高位安定に向けた生産振興対策を進めてまいります。

昨年7月に「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録され、国内はもちろん、世界各地から注目される年になると思います。農業者の皆様の経営発展、佐渡地域の振興につながるよう、関係機関・団体の皆様と連携し、職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和7年度 今年度の重点活動を紹介します

1 地域計画等に位置付けられた担い手を中心とした持続可能な農業・農村の仕組みづくり

農業者の減少や高齢化が進む中、持続可能な農業を図るためには新規就農者の確保・育成とともに外部人材を活用しながら地域全体で農地を利用していくことが重要となっていることから、令和7年度より佐渡市地域計画に位置付けられている「おけさ柿」産地をモデルに、維持発展の仕組みづくりに取り組んでいきます。

具体的には、新規栽培者の受入体制整備や経営継承の仕組みづくり、収量・品質の向上等を目指した産地発展ビジョンの策定とビジョンに基づく取組の実践を関係機関とともに支援し、産地の販売力アップと担い手となる経営体の確保を目指します。



新規栽培者等への栽培管理研修会

2 中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり

中山間地域の営農や集落機能の維持・発展に向けて、関係機関と連携して地域住民の主体的な参画による将来プラン実践の支援を通じ、営農体制の再構築と中山間地域の発展を目指します。令和7年度は令和6年度から引き続き、琴浦地区と浜河内・多田地区での取組を支援します。

琴浦地区では新設法人の経営安定と地域資源を活用した地域づくり、定住者確保に向けた取組を実施します。



将来プラン実現に向けた話し合い

3 魅力ある農業経営体の育成

地域の農地や人材の受け皿となる農業法人等大規模経営体の体質強化に向け、スマート農業技術や省力栽培技術の導入を促進し、米の生産コストや労働時間の低減の取り組みを支援します。

令和7年度は、ドローン追肥など低コスト栽培に向けた技術実証を行うとともに、湛水直播栽培の拡大、栽培管理支援システムの有効活用等を支援します。



スリップローラーシーダーによる初冬直播作業

昨年度(R6)の主な活動成果を紹介します

① 新規就農者の確保・育成

関係機関（新規就農者担い手支援チーム）と連携し、就農相談活動や地元高校生・島外在住の就農候補者に向けた就農PR活動、地域の受入体制整備に取り組みました。

就農後の支援として、「園芸参入塾」による技術習得支援のほか、「若手農業者交流会」の開催や4 H クラブ等の若手農業者組織の活動支援により、若手農業者の交流を図りました。

引き続き、地域一体となって新規就農者の確保・育成に向けた取組を進めていきます。



若手農業者交流会
(12/23)

② 園芸販売額1億円産地の育成

販売額1億円産地を育成するため、産地・関係機関と連携し、新規担い手確保・販売額増加に向けて取り組みました。

柿では団地ごとに新規栽培者の受入体制が整い、新たな担い手を受け入れる機運が高まっています。ルレクチエやアスパラガスなどは若手栽培者向け研修会の参加者が技術力を身につけ、販売金額を伸ばすなど産地全体の底上げに繋がっています。

さらなる園芸振興に向け、引き続き産地・関係機関と連携して取り組んでいきます。



西洋なしチャレンジ農業実践
支援講座での選定指導

③ 「佐渡米」品質向上

佐渡米の品質・収量向上に向け、関係機関連携による『佐渡米未来プロジェクト「品質向上90」』に取り組みしました。

令和6年は、サポーターへの情報提供や指導会などを通じ、技術対策の徹底を呼びかけました。登熟期の高温、倒伏などの影響により、平年に比べ品質・作柄は低下しましたが、コシヒカリの1等級比率は52.8%*と前年より回復しました。(令和6年12月末現在、JAのみ)



サポーターほ場での
収穫前指導会